

○令和6年7月30日～8月1日 文教厚生委員会の県外行政視察を行いました。

文教厚生委員会では、「少子化対策の推進について」及び「幼児教育の推進について」を調査事項として東京都、神奈川県、岐阜県及び京都府内において計6カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑や施設等の視察を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	渋谷区子育てネウボラ	東京都 渋谷区	渋谷区役所において、渋谷区子育てネウボラの設立経緯や支援内容等の説明を受けた後、保健師の人的体制や支援が必要な特定妊婦が増加傾向にある中での保健師による支援内容等について質疑を行い、施設を視察しました。
②	株式会社タップル	東京都 渋谷区	少子化の要因分析や株式会社タップルが提供しているマッチングアプリの具体的内容、官民連携の状況等の説明を受けた後、マッチングアプリの安全対策や官民連携のメリット・効果等について質疑を行いました。
③	ゆうゆうのもり幼保園	神奈川県 横浜市	乳幼児期における子育ての考え方や園の設立経緯等の説明を受けた後、園内の施設や子どもの状況を視察し、保育士をはじめとしたスタッフのマネジメントやスタッフが子どもと話す機会の確保等について質疑を行いました。
④	北方町立北学園	岐阜県 北方町	0歳から15歳までの一貫保育教育を実現した再編の経緯や不登校対策として実施している特例教室「オンリー1」の状況等の説明を受けた後、学園内を視察し、再編にあたって苦労した点や参考にした先進事例等について質疑を行いました。
⑤	株式会社イマオコーポレーション	岐阜県 関市	株式会社イマオコーポレーションの健康経営に向けた働き方改革の取組や多様な休暇制度・福利厚生制度、各種認証・表彰等の説明を受けた後、社内における育児休業の取得状況や人材確保状況等について質疑を行いました。
⑥	立命館大学	京都府 京都市	立命館大学産業社会学部の筒井淳也教授から、香川県内の様々なデータを用いた現状分析や地域特性に応じた少子化対策等の説明を受けた後、フリーランス等の新しい働き方と少子化との関係や都道府県が行うべき少子化対策等について質疑を行いました。

① 渋谷区子育てネウボラ



② 株式会社タップル



③ ゆうゆうのもり幼保園



④ 北方町立北学園



⑤ 株式会社イマオコーポレーション



⑥ 立命館大学

